

87人で、おいしくご飯をいただき、楽しく語りました。

住まいと暮らしを考える——<碧いびわ湖フォーラム>を、6月6日に彦根りんご園で行いました。
当日は、87人(うち、子ども11人)もの方々が来てくださいました。みなさんありがとうございました。



見た目にも
にぎやかなお料理



チンドンバンド

(お料理) by どっほ村/大戸洞舎
葉山菜(はわさび)とほうれん草白和え
草蓆(くさぶき)の新ジャガサラダ
木の芽味噌(コンニャク・焼ナス)
茗荷ダケ甘酢漬 だし巻卵
新玉葱味噌汁(はちく・クレソン)
黒米寿司 釜炊きご飯

美味しい!

ふせんに感想を
書き込み…



みんなで昼ごはん



車座になって座談会

住まいと暮らしを考える——碧いびわ湖フォーラム <ほんまもんの“豊かさ”ってなんやろ?>
(お話し)「わが家の医食住」 ゲスト…鈴木ゆみさん&有(たもつ)さん ご夫妻
(座談会) ファシリテーター…佐々木和之、佐藤祐一、樋口幸永、平山奈央子、南村多津恵 司会…中野桂
2010年6月6日(日)12:00~16:00 彦根りんご園にて
(ミニミニ市) 愛のまちエコ倶楽部、kikito 湖東地域材循環システム協議会、比良里山クラブ、おのみ木質バイオマス利用研究会、モモの樹朝市、碧いびわ湖

「がんとの平和共存」って言ってるんですけど、がんをやっつけるんじゃないで、がんと上手に付き合いながら普通の生活が出来たら、それでいいんです。現代医学の病院には行かずに、8年間、がんとお付き合いしてきました。まず、食事療法。自分で自分の身体の声聞きながら、食事をコントロールし、また、療養に専念したときは、1日2時間ぐらい歩いて・・・

がんになったことで、単身赴任していた夫と一緒に暮らせるようになった。がんになったおかげで得たものって数え切れない。自然を受け入れて、自然の恵みに感謝して生かされてるんだっていう人生観が根底にあったから、こういう選択が出来て、おかげさまで幸せに暮らしてる・・・



鈴木 有(たもつ)さん

(お話し) わが家の 医 食 住

鈴木 ゆみさん



西洋文明から東洋の思想に戻る大きな転機があって、それを踏まえて家をつくらうとなった。それが、阪神淡路大震災だった。震度7を記録した淡路島に現地調査に入り。「ああ、日本の伝統民家って、本当は凄いいんじゃないか」と。

大震災の時、最も困ったのが水(雑用水)です。わが家の地下貯水槽には16トンの雨水がたまる。周辺の千人ぐらいが3日間は生き延びられる。

わが家の浄化槽は微生物が浄化してくれる。トイレの流し水に再利用しているので、その水の色でバクテリアの調子わかる。最大の敵は「薬」。抗生物質は、まさにどんぴしゃ。人間そのものが健康でなかったらうまくいかない(笑)。

家を見るとそこに暮らす人がおのずと見えてくる。その人の人生観、感じ方、社会を見る目。結局、わかってきたことは、住まいが変わると、暮らしが変わる。逆もまた真なりで、暮らしが変わると、住まいも変わる。

参加者の声(感想)

とても楽しい1日でした。おいしい食事とおやつで心も体もほっこりにっこりいい気持ち暮らしの中のアレこれ。それぞれの思いを聴いて、とても刺激になりました。今あるものに生かされている自分を知り、まずは世界を感謝で受け入れる。その上で自分にできる小さな一歩を実行していきたいと思えます。

座談会では、たくさんの人の意見やお話を聞いて、大変貴重な時間でした。ご飯も美味しく、楽しく学べる場を提供していただき、ありがとうございました。「また来たい!!」と思えるイベントでした。

私も、阪神大震災・化学物質過敏症の出現により家のありようについて、見直した一人です。知らないうちに先生に導かれていたのかもしれない。

はじめて参加させていただきましたが、とても貴重な体験をさせていただきました。自然の食材を使ったメニューもおいしくいただきました。鈴木ご夫妻のお話も大変興味深かったですし、その後の座談会で他の皆様のご意見を伺ったり、自分の考えをお話しできたのも良かったです。

(座談会では)皆さんがとてもいい形で話をつなげて下さり、色々なアイデア・想い・気づきが発掘されたなあと思います。単に太陽光発電いいなといった話で終わらなかったのがよかったです。

大変、よかったです。最初のチンドン屋から感動!!食事はバツグン。特に葉ざんしょうの味噌は最も気に入りました。ゆみさんの衝撃的な体験談は、しばらく脳の底の方で消えることはないでしょう。